

平成21年度  
埋蔵文化財調査年報  
— 国庫補助事業対象分 —

2011年3月

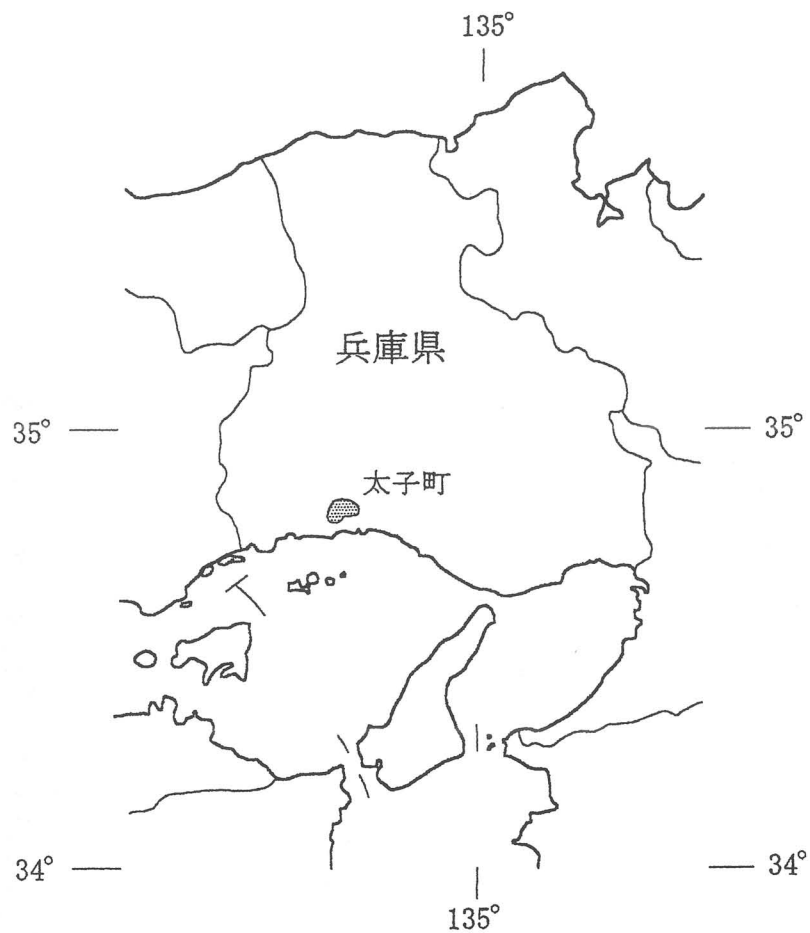
太子町教育委員会

平成 21 年度  
埋 蔵 文 化 財 調 査 年 報

2011 年 3 月  
太子町教育委員会

## 例 言

1. 本報告書は、平成 21 年度に実施した埋蔵文化財調査のうち、国庫補助事業として実施した試掘確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課文化財係海野浩幸が担当した。
3. 本報告書の執筆・編集は、社会教育課文化財係海野が行った。
4. 遺物実測・トレース等の整理作業は、改発法子・丸山貴子が行った。
5. 調査位置図は、太子町作成 1/25,000「太子町全図」(平成 9 年)を 1/30,000 に縮小して使用した。
6. 本報告書の示す標高は、T・P を基準とし、方位は座標北を示す。
7. 本報告書で用いた経緯度は、世界測地系を基準とした。
8. 遺物実測図の断面は、弥生土器は黒塗りで、須恵器は白抜きでそれぞれ示した。
9. 本報告書に使用した図面・写真は、太子町教育委員会が保管している。



第 1 図 太子町位置図

## 調査体制

【平成 21 年度】

事務局	教育長	寺田寛文
	教育次長	塚原二良
	社会教育課長	森田眞一
	同 係長	森田まさ代
	同 主査	二ノ丸麻理子
	同 主査	田淵保紀
	同 主事	水口千佳子
文化財担当	社会教育係長	田村三千夫
	同 主査	三村修次
	同 主査	海野浩幸



調査風景（茶ノ木遺跡）

# 目次

## 例言 調査体制

I 平成 21 年度調査概要	1
平成 21 年度調査概要	
鶇遺跡（第 26 次調査）	3
斑鳩寺南遺跡	5
城山遺跡	7
船塚遺跡	8
助久五反畑遺跡	10
茶ノ木遺跡	11
佐田構居跡	13
馬場遺跡	14
鶇遺跡（第 27 次調査）	16
鶇北遺跡	18
川島遺跡	20
佐田構居跡	23
II 報告書抄録	27

## 挿図目次

第 1 図 太子町位置図	
第 2 図 平成 21 年度調査位置図	2
鶇遺跡（第 26 次調査）	
第 3 図 トレンチ配置図	3
第 4 図 土層断面図	4
第 5 図 1 トレンチ	4
第 6 図 2 トレンチ	4
第 7 図 3 トレンチ	4
第 8 図 4 トレンチ	4
第 9 図 5 トレンチ	4
斑鳩寺南遺跡	
第 10 図 トレンチ配置図	5
第 11 図 土層断面図	6
第 12 図 1 トレンチ	6
第 13 図 2 トレンチ	6
第 14 図 3 トレンチ	6
第 15 図 4 トレンチ	6

## 城山遺跡

第16図	試掘坪配置図	7
第17図	土層断面図	7

## 船塚遺跡

第18図	トレンチ配置図	8
第19図	土層断面図	9
第20図	1 トレンチ	9
第21図	2 トレンチ	9
第22図	3 トレンチ	9
第23図	4 トレンチ	9
第24図	5 トレンチ	9

## 助久五反畑遺跡

第25図	トレンチ配置図	10
第26図	土層断面図	10

## 茶ノ木遺跡

第27図	トレンチ配置図	11
第28図	遺構平面・土層断面図	12
第29図	出土遺物	12
第30図	トレンチ全景(南より)	12

## 佐田構居跡

第31図	トレンチ配置図	13
第32図	土層断面図	13
第33図	トレンチ全景(北より)	13

## 馬場遺跡

第34図	トレンチ配置図	14
第35図	土層断面図	15
第36図	1 トレンチ	15
第37図	2 トレンチ	15
第38図	3 トレンチ	15
第39図	4 トレンチ	15
第40図	5 トレンチ	15
第41図	6 トレンチ	15
第42図	7 トレンチ	15

## 鳩遺跡(第27次調査)

第43図	トレンチ配置図	16
第44図	土層断面図	17
第45図	1 トレンチ	17
第46図	2 トレンチ	17
第47図	3 トレンチ	17
第48図	4 トレンチ	17

## 鶯北遺跡

第49図	トレンチ配置図	18
第50図	土層断面図	19
第51図	1 トレンチ	19
第52図	2 トレンチ	19
第53図	3 トレンチ	19

## 川島遺跡

第54図	トレンチ配置図	20
第55図	土層断面図	21
第56図	出土遺物	22
第57図	1 トレンチ	22
第58図	2 トレンチ	22
第59図	3 トレンチ	22
第60図	4 トレンチ	22
第61図	5 トレンチ	22
第62図	6 トレンチ	22

## 佐田構居跡

第63図	トレンチ配置図	23
第64図	遺構平面・土層断面図	24
第65図	出土遺物	25
第66図	1 トレンチ全景(南より)	25
第67図	1 トレンチ溝(東より)	25
第68図	2 トレンチ全景(南より)	25

## 表目次

表1	平成21年度埋蔵文化財調査一覧表	1
表2	遺物観察表	26

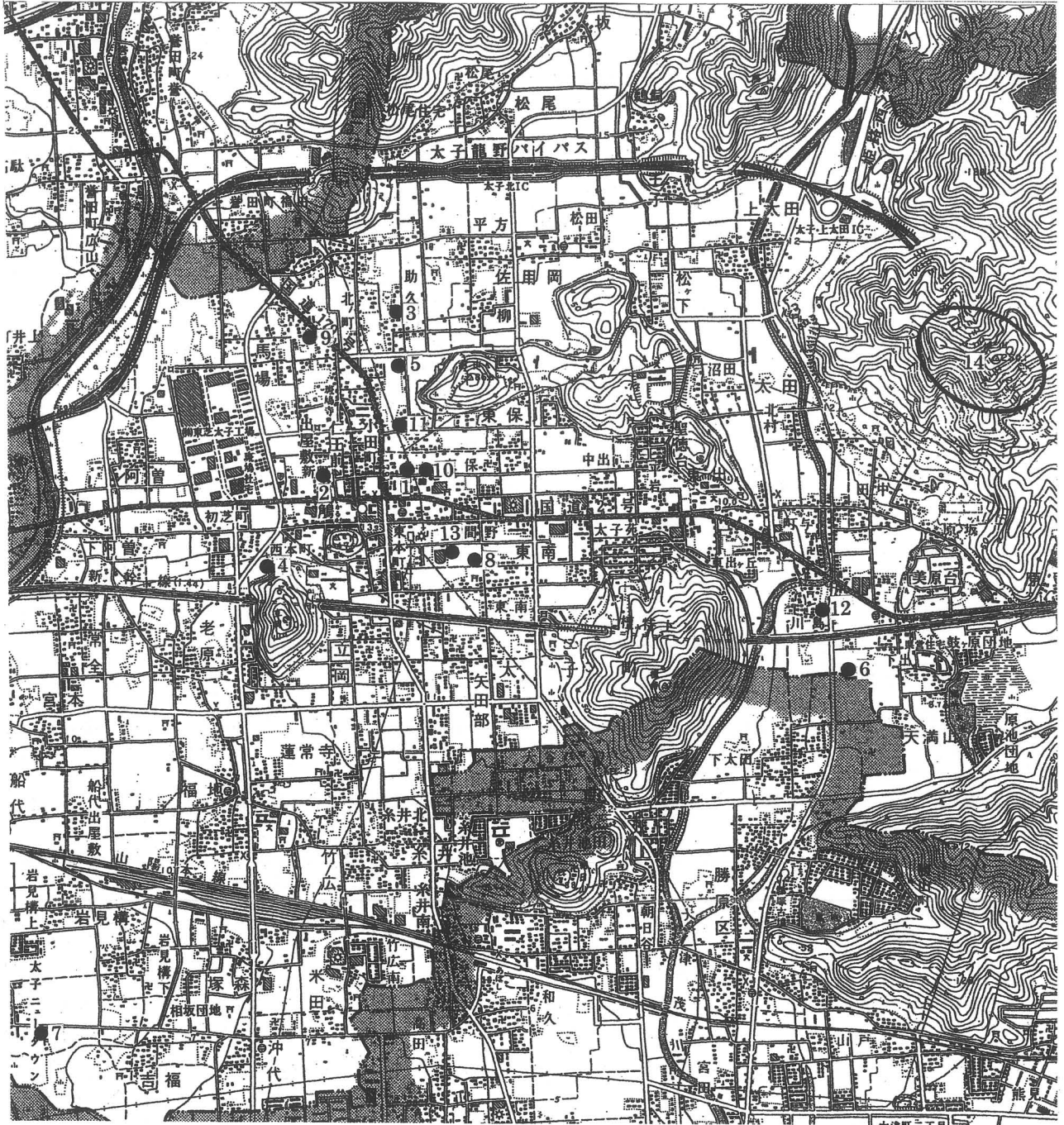
## I 平成 21 年度調査概要

平成 21 年度では、14 件の調査を実施した。その内訳は、民間の開発事業に伴う試掘確認調査が 12 件、公共事業に伴う確認調査が 1 件、公共事業に伴う遺跡分布調査が 1 件である。そのうち、12 箇所の民間開発事業に伴う試掘確認調査を国庫補助事業として実施した。

表 1 平成 21 年度埋蔵文化財調査一覧

No.	遺 跡 名	所 在 地	事 業 内 容	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調 査 期 間	備 考
1	鵜遺跡 (第 26 次調査)	鵜字堂ノ後	住宅建築 国庫補助事業	1,173.57	22.5	平成 21 年 4 月 13 日 ～4 月 17 日	本書掲載
2	斑鳩寺南遺跡	鵜字前田	宅地造成 国庫補助事業	2,137.81	40	平成 21 年 4 月 20 日 ～4 月 23 日	本書掲載
3	城山遺跡	佐用岡字瓜 生	個人住宅建築 国庫補助事業	485.46	4	平成 21 年 4 月 24 日	本書掲載
4	船塚遺跡	鵜字榎ノ森	住宅建築 国庫補助事業	2,781.31	58	平成 21 年 4 月 27 日 ～5 月 1 日	本書掲載
5	助久五反畑遺跡	佐用岡字古 門内	住宅建築 国庫補助事業	578.03	12	平成 21 年 5 月 7 日 ～5 月 12 日	本書掲載
6	茶ノ木遺跡	太田字茶ノ 木	無線基地局建築 国庫補助事業	184.17	27	平成 21 年 6 月 1 日 ～6 月 5 日	本書掲載
7	吉福西遺跡 (第 3 次調査)	吉福字ウチ ナウケ	町道改良工事 公共事業	900	16	平成 21 年 8 月 17 日 ～8 月 18 日	
8	佐田構居跡	東南字佐田	住宅建築 国庫補助事業	1,107.05	70.81	平成 21 年 10 月 13 日 ～10 月 16 日	本書掲載
9	馬場遺跡	鵜字八幡分	宅地造成 国庫補助事業	3,129	70	平成 21 年 10 月 21 日 ～10 月 30 日	本書掲載
10	鵜遺跡 (第 27 次調査)	鵜字小栗田	宅地造成 国庫補助事業	4,014.06	40.84	平成 21 年 11 月 4 日 ～11 月 9 日	本書掲載
11	鵜北遺跡	佐用岡字五 反畑	住宅建築 国庫補助事業	425.74	24.11	平成 21 年 12 月 2 日 ～12 月 7 日	本書掲載
12	川島遺跡	太田字五反 田	宅地造成 国庫補助事業	2,219.26	70.60	平成 21 年 12 月 21 日 ～平成 22 年 2 月 24 日	本書掲載
13	佐田構居跡	東南字佐田	宅地造成 国庫補助事業	512.39	39	平成 22 年 2 月 22 日 ～3 月 10 日	本書掲載
14	山田大山古墳群 楯岩城跡	山田字大山	防災設備設置 公共事業	5,000	5,000	平成 21 年 12 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 19 日	分布調査





第2図 平成21年度調査位置図 (1/30,000)

## 鵜遺跡（第26次調査）

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鵜字堂ノ後 1267 番 1 の一部

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 4 月 13 日～4 月 17 日

### 5. 調査面積

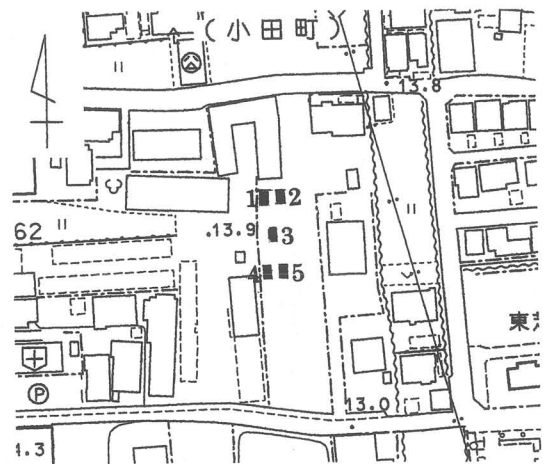
22.5 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 07 秒)、東経(134 度 34 分 47 秒)



第3図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

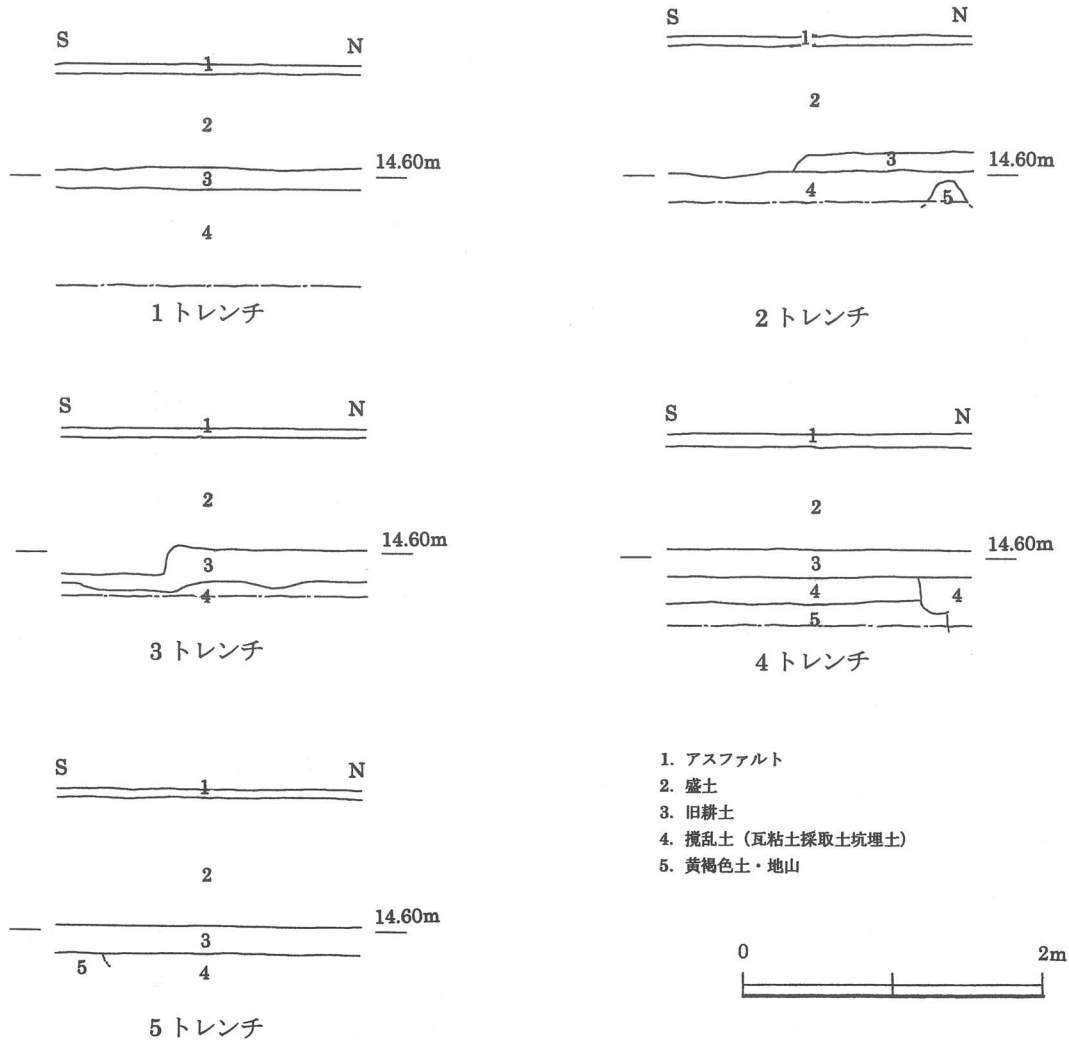
太子町鵜字堂ノ後 1267 番 1 の一部において共同住宅建築が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である鵜遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 15.20m 全後を測る駐車場である。

### 8. 調査の概要

調査は、1.5×3m のトレンチを 5 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層からアスファルト(6cm)、盛土(70～80cm)、旧耕土(14～20cm)で黄褐色粘質土・地山となっている。各トレンチで現代の瓦粘土採掘に伴う攪乱が検出され、地山面はほとんど残っていない状況であった。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、今回の調査地点は現代の瓦粘土採掘に伴う攪乱を大規模に受けていることが判明し、鵜遺跡に関連する遺構を検出することはできなかった。



第4図 土層断面図



第5図 1 トレンチ



第6図 2 トレンチ



第7図 3 トレンチ



第8図 4 トレンチ



第9図 5 トレンチ

## 斑鳩寺南遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶴字前田 530 番 1 他 2 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 4 月 20 日～4 月 23 日

### 5. 調査面積

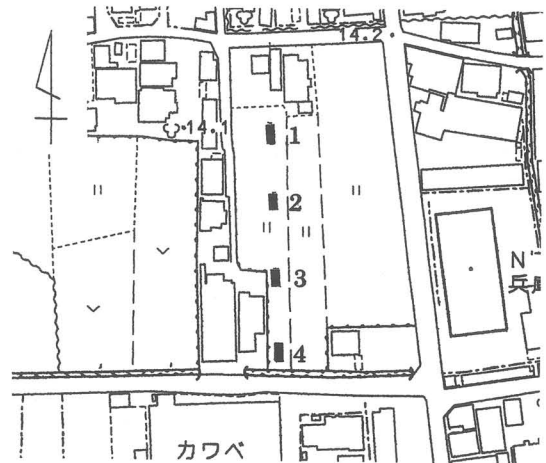
40 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/250)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 06 秒)、東経(134 度 34 分 29 秒)



第 10 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

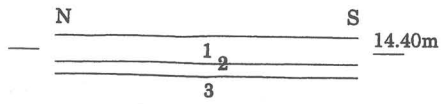
太子町鶴字前田 530 番 1 他 2 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である斑鳩寺南遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は標高 14.50m 全後を測る休耕田である。

### 8. 調査の概要

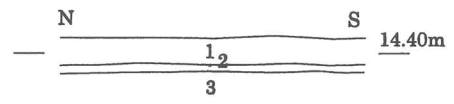
調査は、2×5m のトレンチを 4 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から耕土(18cm)、淡褐灰色土・床土(4～6cm)で円礫混じり明褐色砂質土・地山となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

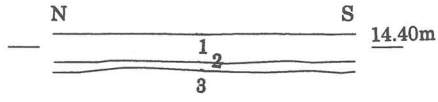
調査の結果、今回の調査地点では斑鳩寺南遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



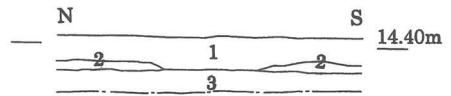
1 トレンチ



2 トレンチ



3 トレンチ



4 トレンチ

- 1. 耕土
- 2. 淡褐色土・床土
- 3. 明褐色円礫混じり砂質土・地山



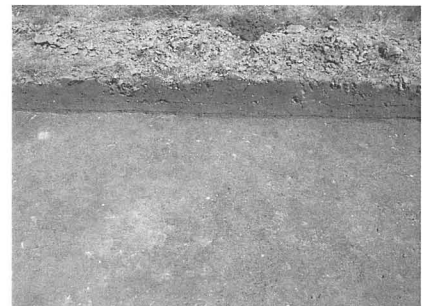
第 11 図 土層断面図



第 12 図 1 トレンチ



第 13 図 2 トレンチ



第 14 図 3 トレンチ



第 15 図 4 トレン

# 城山遺跡

## 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町佐用岡字瓜生 841 番 2 他 3 筆

## 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

## 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

## 4. 調査期間

平成 21 年 4 月 24 日

## 5. 調査面積

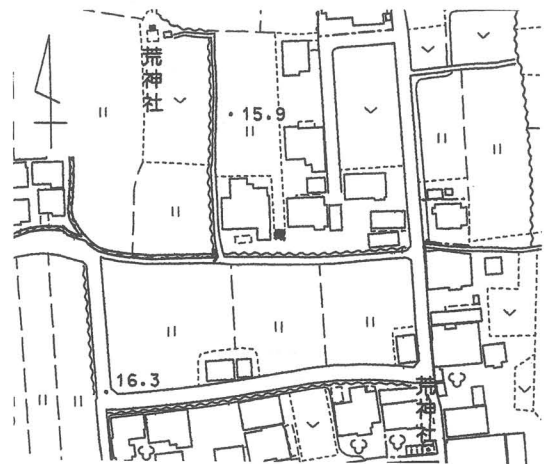
4 m<sup>2</sup>

## 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 30 秒)、東経(134 度 34 分 44 秒)



第 16 図 試掘坪配置図(1/2,500)

## 7. 調査に至る経過

太子町佐用岡字瓜生 841 番 2 他 3 筆において個人住宅の新築工事が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である城山遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 15.80m 全後を測る畑である。

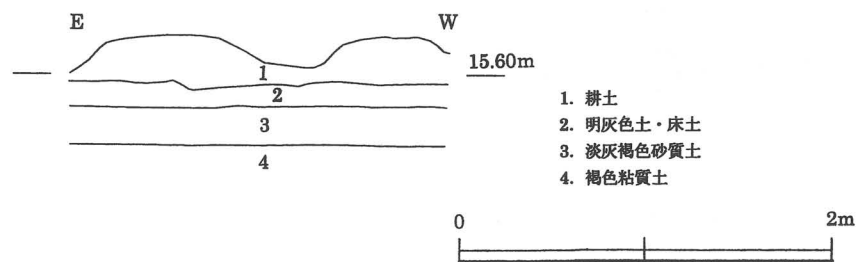
## 8. 調査の概要

調査は、2×2m の試掘坪を 1 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から耕土(24cm)、明灰色土・床土(14cm)、淡灰褐色砂質土(20cm)で褐色粘質土・地山となっている。

遺構・遺物包含層は検出されなかったが、遺物は淡灰褐色砂質土から備前焼片 1 点が出土しただけである。

## 9. まとめ

調査の結果、今回の調査地点では城山遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



第 17 図 土層断面図

## 船塚遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶴字榎ノ森 233 番 2 他 3 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 4 月 27 日～5 月 1 日

### 5. 調査面積

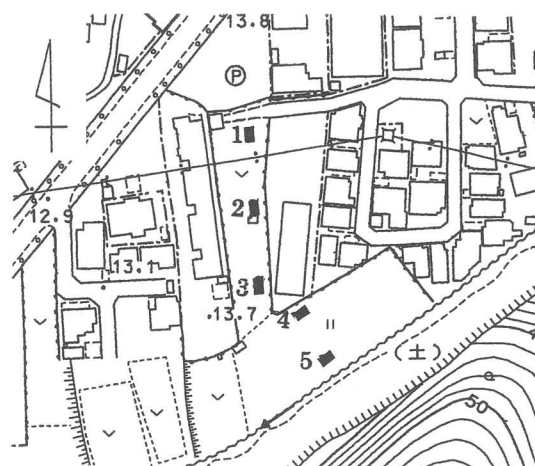
58 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 52 秒)、東経(134 度 34 分 21 秒)



第 18 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町鶴字榎ノ森 841 番 2 他 3 筆において集合住宅の建築が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財の包蔵地外であるが、古墳時代後期の住居址と同時期の古墳の周溝が確認された船塚遺跡の西約 300 m の地点に位置することから、遺構及び遺物包含層の広がりを確認するため試掘調査を実施した。調査地の現況は、北半部は標高 13.30m 全後を測る休耕地、南半部は標高 14.60m 前後を測る造成地となっている。

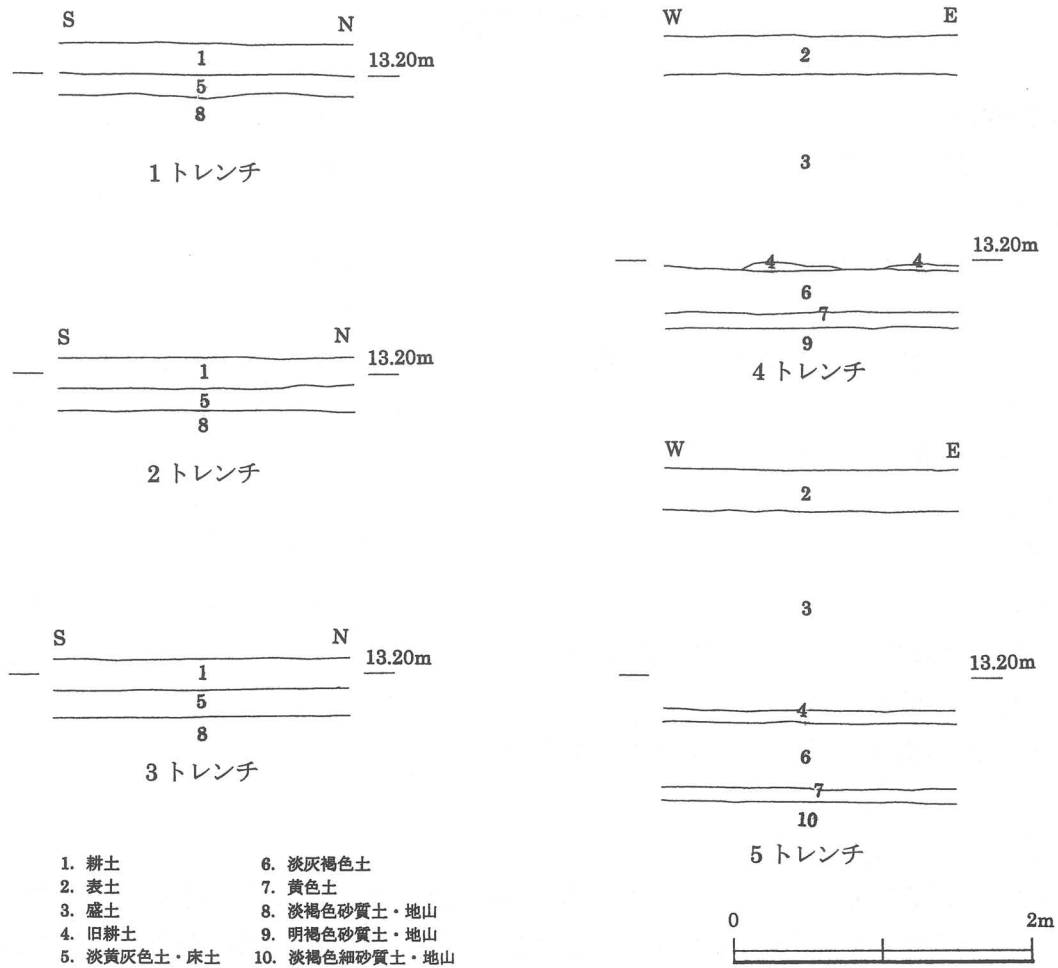
### 8. 調査の概要

調査は、2×5m のトレンチを 5 箇所設定して実施した。調査地の土層は、北半部に設定した 1～3 トレンチでは上層から耕土(20cm)、淡黄灰色土・床土(14～18cm)、で淡褐色砂質土・地山となっている。南半部に設定した 4・5 トレンチでは表土(24～28cm)、盛土(120～124cm)、旧耕土(8cm)、淡褐灰色土(30～42cm)、黄色土(10cm)で明褐色砂質土若しくは淡褐色細砂質土の地山となっている。

各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

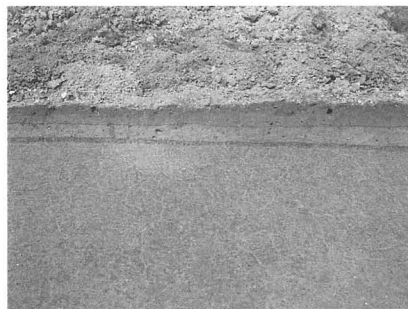
調査の結果、今回の調査地点では船塚遺跡に関連する遺構・遺物は検出されず、船塚遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



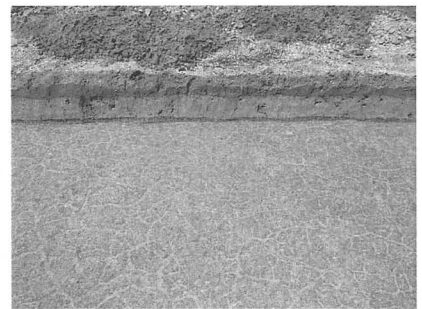
第19図 土層断面図



第20図 1 トレンチ



第21図 3 トレンチ



第22図 5 トレンチ



第23図 4 トレンチ



第24図 5 トレンチ



## 助久五反畑遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町佐用岡字古門内 941 番 1

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 5 月 7 日～5 月 12 日

### 5. 調査面積

12 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 23 秒)、東経(134 度 34 分 46 秒)



第 25 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

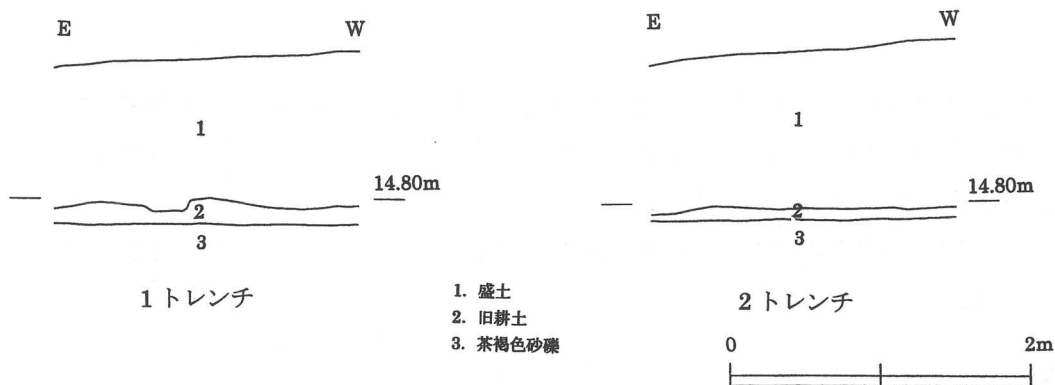
太子町佐用岡字古門内 941 番 1 において共同住宅の建築が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である助久五反畑遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 15.90m 全後を測る更地である。

### 8. 調査の概要

調査は、1.5×4m のトレンチを 2 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から盛土(100～110cm)、旧耕土(6～16 cm)直下で茶褐色砂礫・地山となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、今回の調査地点では助久五反畑遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



第 26 図 土層断面図

## 茶ノ木遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町太田字茶ノ木 1723 番 1

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

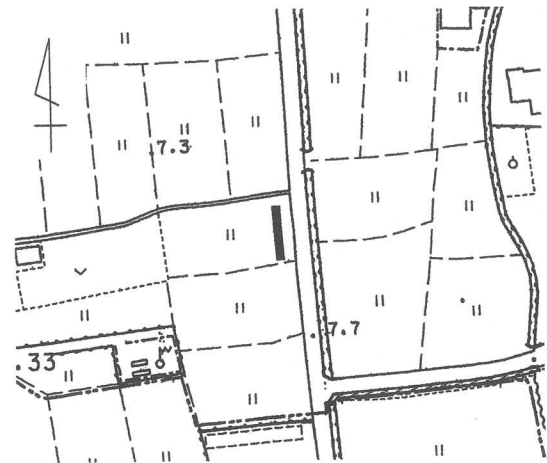
平成 21 年 6 月 1 日～6 月 5 日

### 5. 調査面積

27 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、平面実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)  
トレンチ配置図(1/250)、写真記録(デジタルカメラ撮影)  
北緯(34 度 49 分 35 秒)、東経(134 度 36 分 12 秒)



第 27 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町太田字茶ノ木 1723 番 1 において携帯電話無線基地局の建設が計画され、建設予定地は周知の埋蔵文化財の包蔵地外であるが事前の分布調査の結果、若干ではあるが弥生土器・須恵器等の遺物の散布が確認された。また、建設予定地の北西約 200mの地点には周知の埋蔵文化財である川島遺跡が所在し、南東約 100mの地点で平成 4 年度に実施した町道改良工事に伴う確認調査では、弥生時代前期の溝が確認されているため、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高 7.20m前後を測る休耕田である。

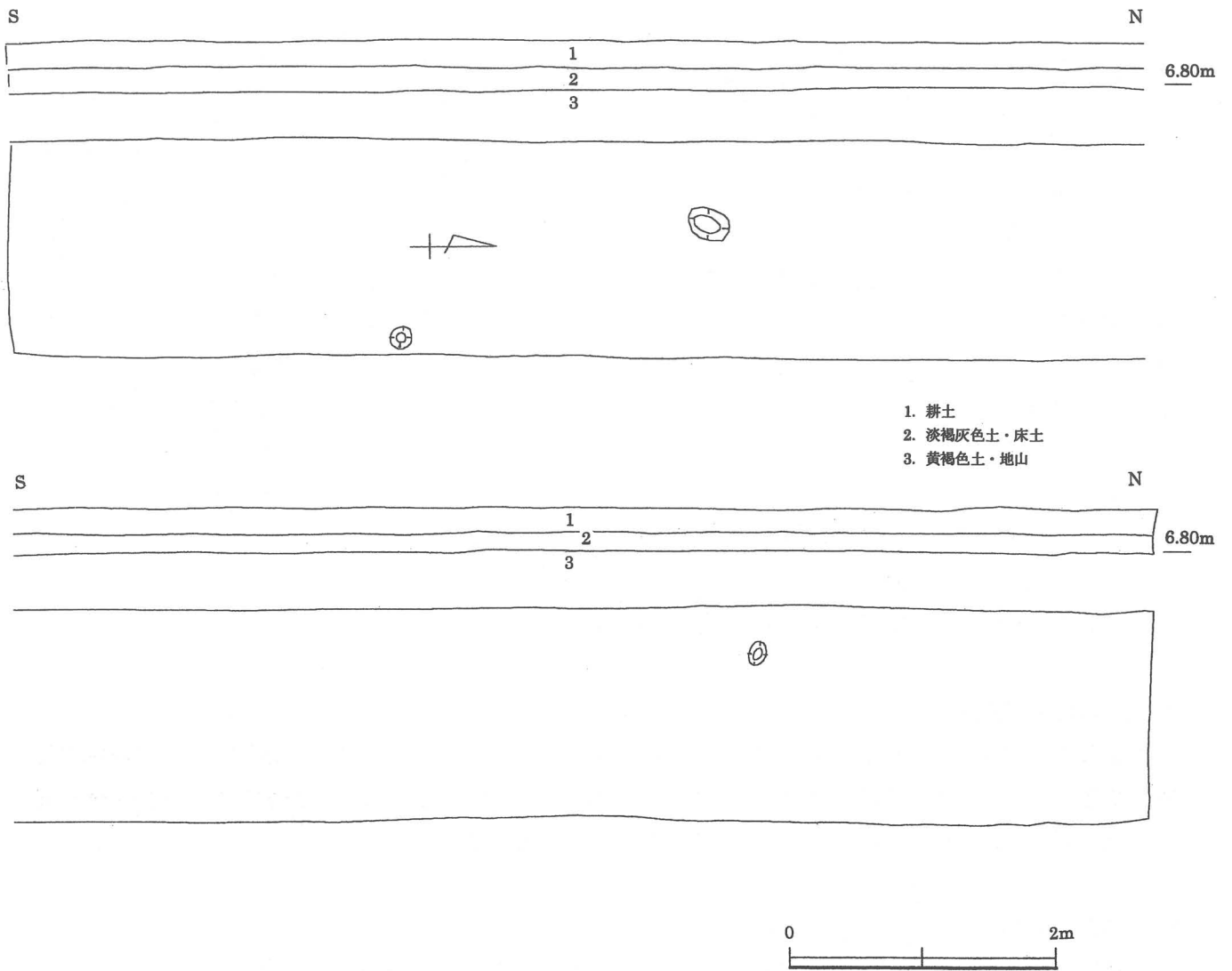
### 8. 調査の概要

調査は、1.6×17m のトレンチを 1 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から耕土(20cm)、淡褐灰色土・床土(14～20cm)で黄褐色粘質土・地山となっている。遺構は、ピット 3 基を検出した。ピットは、直径 15～20cm、深さ 5～10cm を測る。遺物は、遺構からの出土はなかったが、床土から土師器の小片 1 点、須恵器の小片 3 点が出土した。

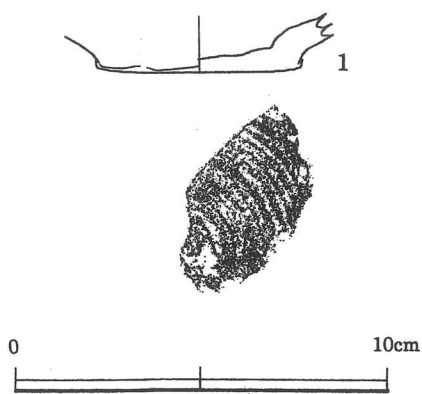
### 9. まとめ

調査の結果、小規模ではあるが遺構が検出されたことにより、周辺部に遺跡が存在することが確認された。今回の調査結果を踏まえ、調査地の字名をとり『茶ノ木遺跡』の名称をつけて周知の埋蔵文化財包蔵地の変更を兵庫県教育委員会へ報告した。

なお、確認調査終了後アンテナ基礎 5×5m部分について基礎掘削時に立会調査を実施し、遺構の無いことを確認した。



第 28 図 遺構平面・土層断面図



第 29 図 出土遺物



第 30 図 トレンチ全景 (南より)

## 佐田構居跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東南字佐田 33 番 3 他 1 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 10 月 13 日～10 月 16 日

### 5. 調査面積

70.81 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/200)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 52 秒)、東経(134 度 35 分 01 秒)



第 31 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町東南字佐田 33 番 3 他 1 筆において共同住宅の建築が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である佐田構居跡の東に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高 12.30m 前後を測る畑作地である。

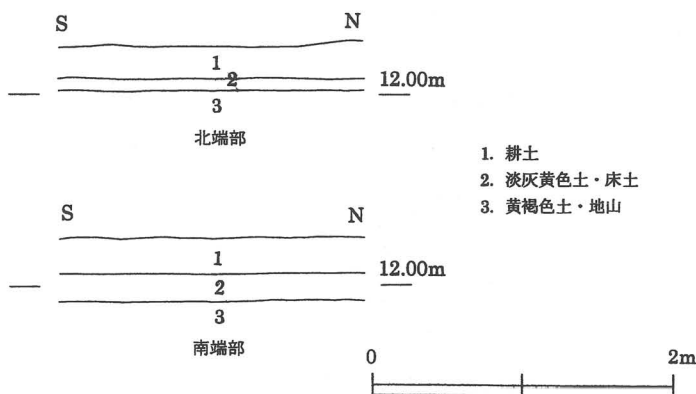
### 8. 調査の概要

調査は、建築予定地西辺の擁壁施工箇所に 1.5×42m のトレンチを設定して実施した。

調査地の土層は、上層から耕土(20～24cm)、淡灰黄色土・床土(8～18cm)で黄褐色土・地山となっており、地山面は南方へ緩やかに傾斜している。遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

### 9. まとめ

調査の結果、佐田構居跡に関連する遺構・遺物は検出されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第 32 図 土層断面図



第 33 図 トレンチ全景 (北より)

## 馬場遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶴字八幡分 920 番 1 他 2 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 10 月 21 日～10 月 30 日

### 5. 調査面積

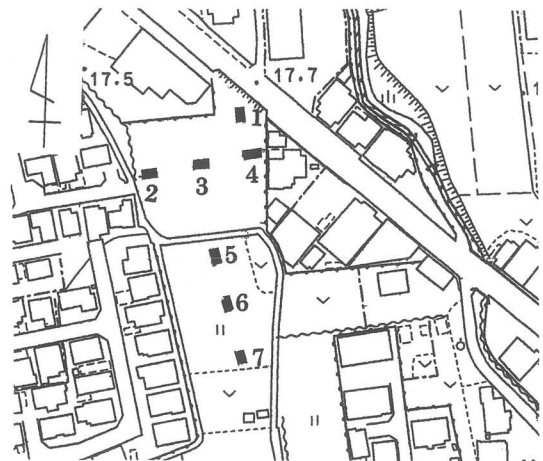
70 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 26 秒)、東経(134 度 34 分 28 秒)



第 34 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

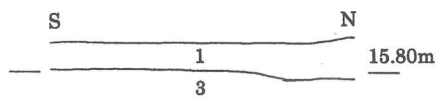
太子町鶴字八幡分 920 番 1 他 2 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である馬場遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 15.90～16.10m を測る水田及び休耕田である。

### 8. 調査の概要

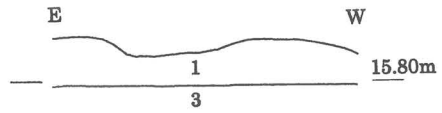
調査は、2×5m のトレンチを 7 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から耕土(18～30cm)、黄色土ないし黄灰色土・床土(2～8cm)で明黄褐色砂質土ないし淡褐色砂質土の地山となっている。地山面は、南西方向へ緩やかに傾斜していることが確認された。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されなかった。遺物は、5 トレンチの床土から弥生土器と須恵器の小片がそれぞれ 1 点ずつ出土しただけである。

### 9. まとめ

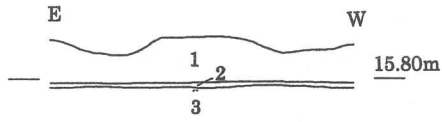
調査の結果、今回の調査地点では馬場遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



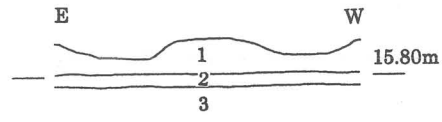
1トレンチ



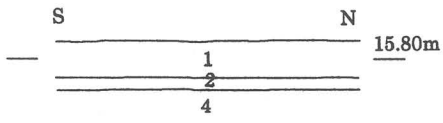
2トレンチ



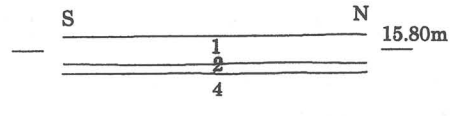
3トレンチ



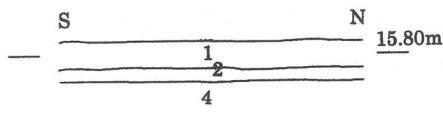
4トレンチ



5トレンチ

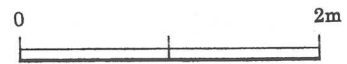


6トレンチ



7トレンチ

- 1. 耕土
- 2. 黄色土・床土
- 3. 明黄褐色砂質土・地山
- 4. 淡褐色砂質土・地山



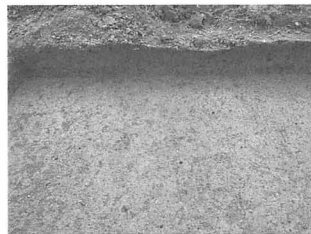
第35図 土層断面図



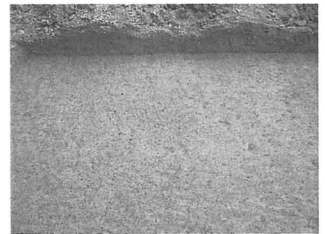
第36図 1トレンチ



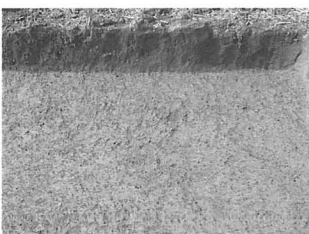
第37図 2トレンチ



第38図 3トレンチ



第39図 4トレンチ



第40図 5トレンチ



第41図 6トレンチ



第42図 7トレンチ

## 鳩遺跡（第 27 次調査）

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鳩字小栗田 1307 番 1 他

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 11 月 4 日～11 月 9 日

### 5. 調査面積

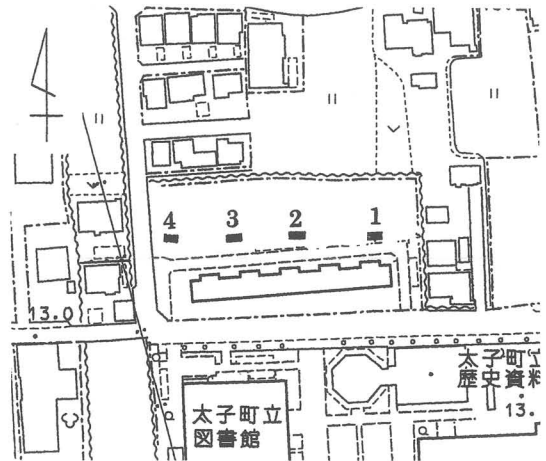
40.84 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 06 秒)、東経(134 度 34 分 51 秒)



第 43 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

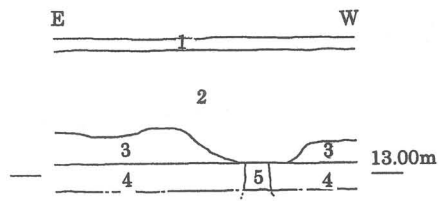
太子町鳩字小栗田 1307 番 1 他において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である鳩遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 13.80m 全後を測る宅地であるが、昭和 30 年代初めまでは中学校の敷地であった。

### 8. 調査の概要

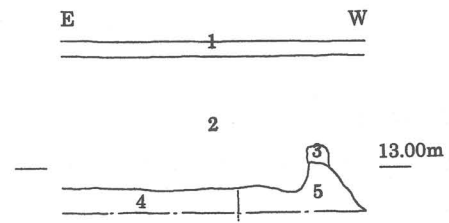
調査は、2×5m のトレンチを 4 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から表土(10～20cm)、盛土及び攪乱土(50～110cm)、旧耕土(10～24cm)で黄褐色土・地山となっている。各トレンチで現代の瓦粘土採掘に伴う攪乱と中学校校舎解体に伴う攪乱が検出され、地山面はほとんど残っていない状況であった。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物も瓦粘土採掘土坑から須恵器片 1 点が出土しただけである。

### 9. まとめ

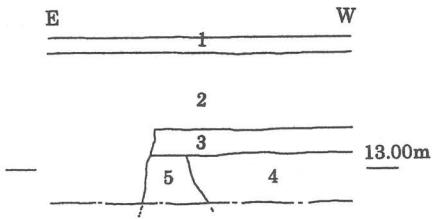
調査の結果、今回の調査地点は現代の瓦粘土採掘及び校舎解体等に伴う攪乱を大規模に受けていることが判明し、鳩遺跡に関連する遺構を検出することはできなかった。



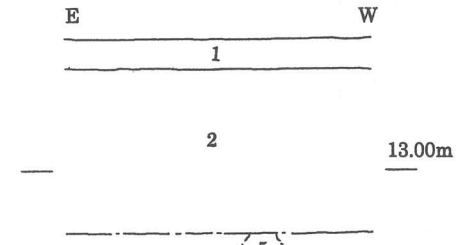
1 トレンチ



2 トレンチ



3 トレンチ



4 トレンチ

- 1. 表土
- 2. 盛土・攪乱土
- 3. 旧耕土
- 4. 粘土探堀土坑埋土
- 5. 黄褐色土・地山



第44図 土層断面図



第45図 1 トレンチ



第46図 2 トレンチ



第47図 3 トレンチ



第48図 4 トレンチ



## 鶺鴒北遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町佐用岡字五反畑 988 番 1 他 1 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 12 月 2 日～12 月 7 日

### 5. 調査面積

24.11 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 50 分 13 秒)、東経(134 度 34 分 45 秒)



第 49 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

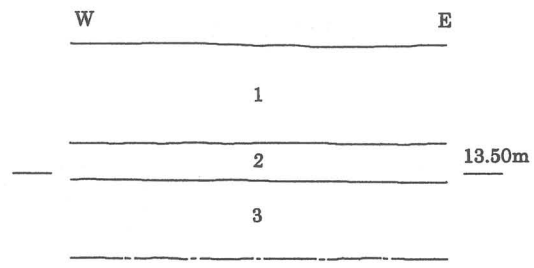
太子町佐用岡字五反畑 988 番 1 他 1 筆において共同住宅の建築が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である鶺鴒北遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 14.30m 全後を測る更地である。

### 8. 調査の概要

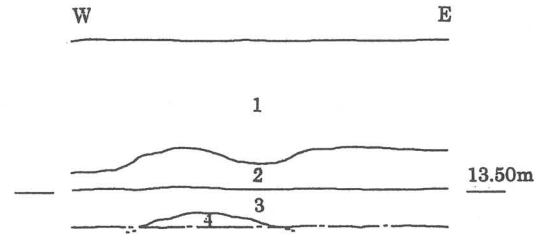
調査は、2×4m のトレンチを 3 箇所設定して実施した。調査地の土層は、上層から盛土(60～70cm)、旧耕土(14～20cm)で明黄褐色細砂質土・地山となっているが、調査地南端に設定した 3 トレンチでは、褐色砂礫となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されなかったが、遺物は、3 トレンチの砂礫層上面から弥生土器片 3 点が出土した。

### 9. まとめ

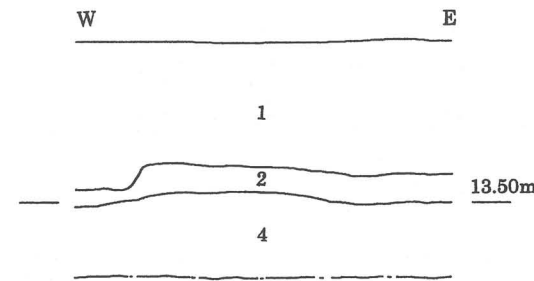
調査の結果、今回の調査地点では鶺鴒北遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



1トレンチ

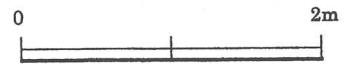


2トレンチ



3トレンチ

- 1. 盛土
- 2. 旧耕土
- 3. 明黄褐色細砂質土・地山
- 4. 褐色砂礫



第50図 土層断面図



第51図 1トレンチ



第52図 2トレンチ



第53図 3トレンチ

## 川島遺跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町太田字南五反田 1760 番 1、他

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 21 年 11 月 21 日～12 月 7 日

平成 22 年 2 月 17 日～2 月 24 日

### 5. 調査面積

70.66 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)、トレンチ配置図(1/300)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 45 秒)、東経(134 度 36 分 07 秒)



第 54 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町太田字南五反田 1760 番 1 他において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である川島遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 8m 全後を測る水田及び畑である。

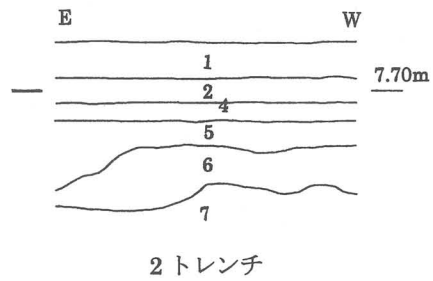
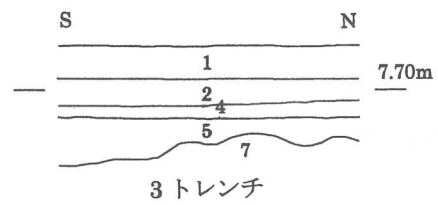
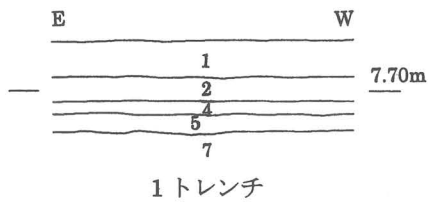
### 8. 調査の概要

調査は、2×5m のトレンチ(1～3 トレンチ)3 箇所、1.5×6m のトレンチ(4 トレンチ)1 箇所、1.5×10m のトレンチ(5 トレンチ)1 箇所、1.5×11m のトレンチ(6 トレンチ)1 箇所をそれぞれ設定して実施した。

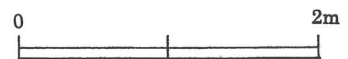
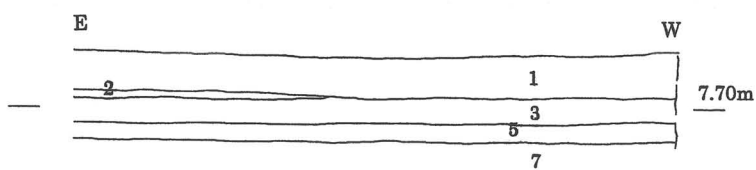
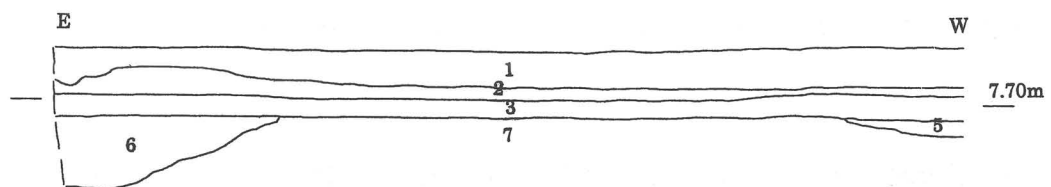
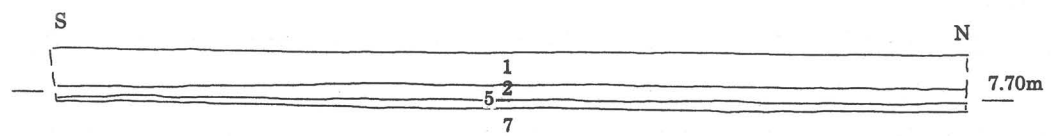
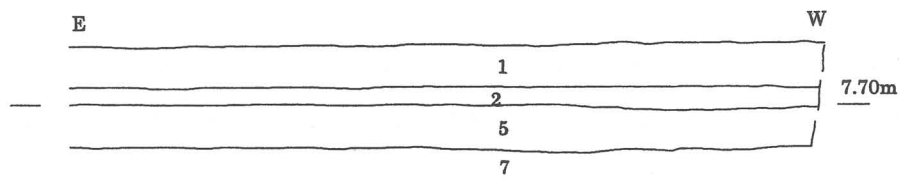
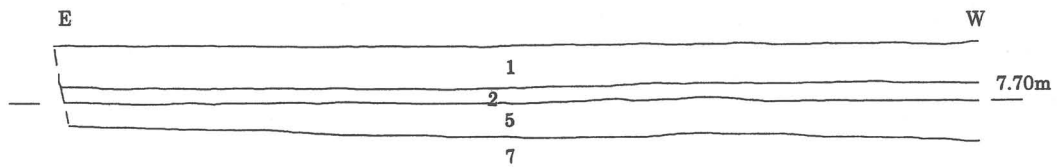
調査地の土層は、上層から耕土(14～20cm)、明灰黄色土・床土(10～18cm)、明灰色粘質土(8～12cm)、灰色粘質土(10～30cm)で明黄色粘質土・地山となっているが、調査地東部に設定した 2 トレンチと 6 トレンチでは、灰色粘質土の下層で東側に落ち込む暗灰色粘質土が確認された。各トレンチとも遺構は検出されなかったが、1・4・5 トレンチから弥生土器片・須恵器片が出土した。

### 9. まとめ

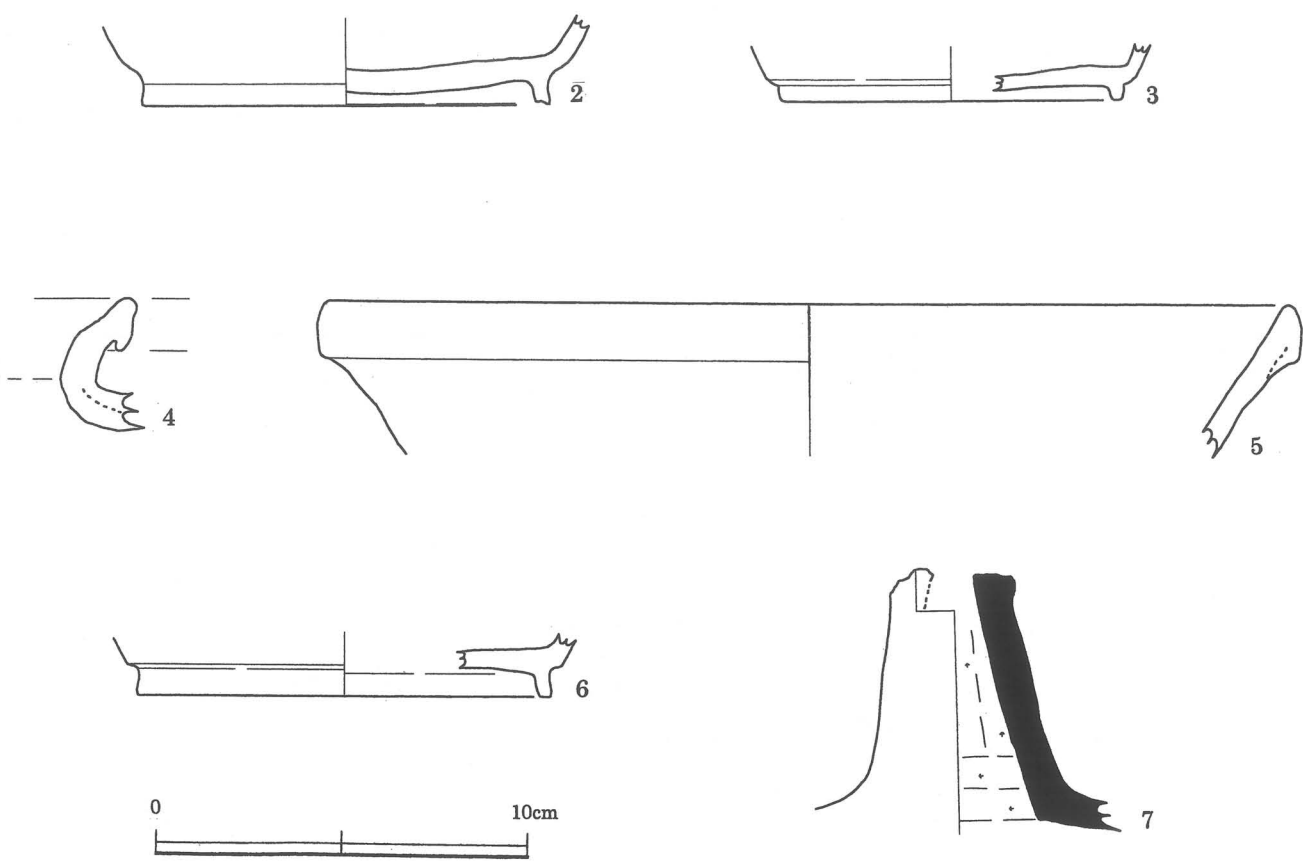
調査の結果、調査地東端部で南流すると考えられる旧河道の西側肩部を検出した。平成 10 年度に県道大江島太子線東側で実施した町道改良工事に伴う調査では、旧河道の東肩部が確認されている。



- 1. 耕土
- 2. 明灰黄色土・床土
- 3. 明灰褐色土・床土
- 4. 明灰色粘質土
- 5. 灰色粘質土
- 6. 暗灰色粘質土
- 7. 明黄色粘質土・地山



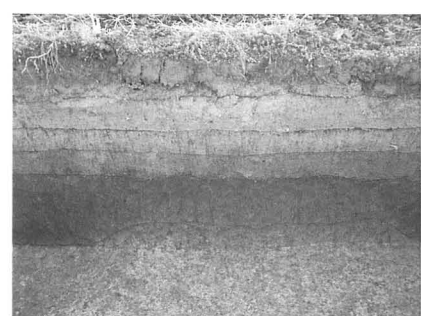
第 55 図 土層断面図



2・3. 1トレンチ、4～6. 4トレンチ、7. 5トレンチ  
 第56図 出土遺物



第57図 1トレンチ



第58図 2トレンチ



第59図 3トレンチ



第60図 4トレンチ



第61図 5トレンチ



第62図 6トレンチ

## 佐田構居跡

### 1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東南字佐田 43 番 6 他 1 筆

### 2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

### 3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

### 4. 調査期間

平成 22 年 2 月 22 日～3 月 10 日

### 5. 調査面積

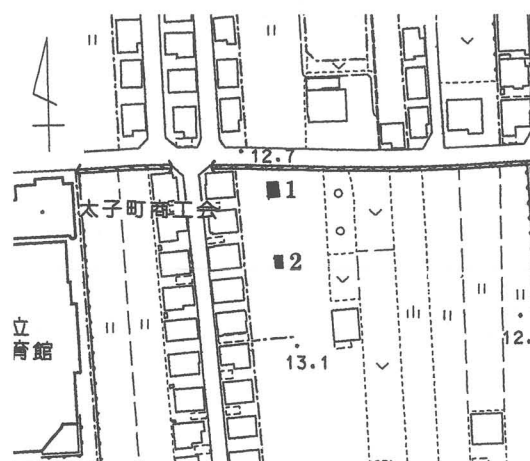
39 m<sup>2</sup>

### 6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺構実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)

トレンチ配置図(1/200)、写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34 度 49 分 55 秒)、東経(134 度 34 分 57 秒)



第 63 図 トレンチ配置図(1/2,500)

### 7. 調査に至る経過

太子町東南字佐田 43 番 6 他 1 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である佐田構居跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無を確認するため確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 13.30m前後を測る造成地である。

### 8. 調査の概要

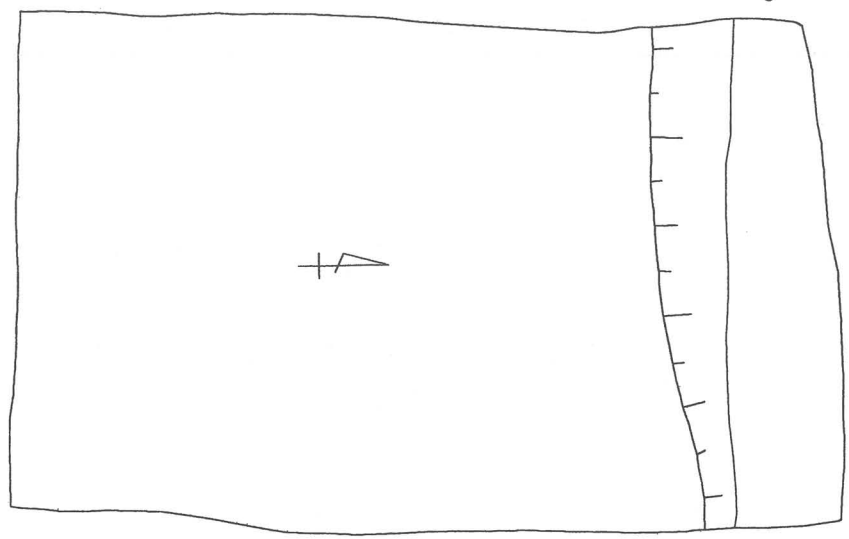
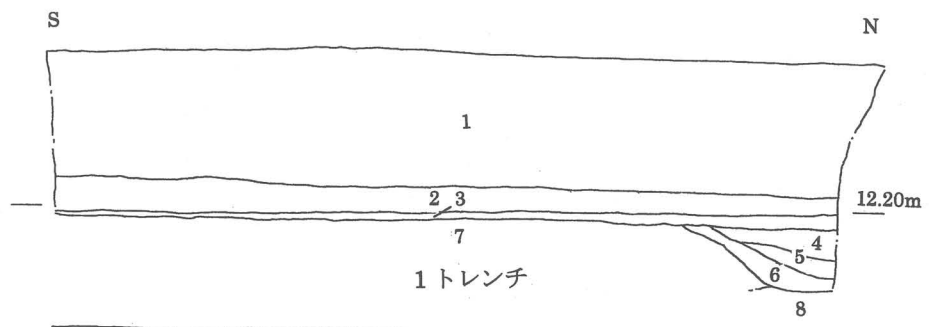
調査は、4×6m のトレンチ(1 トレンチ)と 3×5m のトレンチ(2 トレンチ)を設定して実施した。

調査地の土層は、上層から造成盛(80～90cm)、旧土耕土(14～24cm)、黄色土・床土(4～6cm)で黄褐色土・地山となっている。1 トレンチでは、トレンチ北端で東西方向の溝を検出した。トレンチ設定の制約から、遺構の全容を把握できなかったが検出面からの深さ約 40cm を測る。埋土は上層から灰色土、灰色粘質土の順で堆積している。遺物は、須恵器碗の底部片 1 点が出土しただけである。2 トレンチでは、ピット 9 基を検出した。直径は 10～24cm、深さ 6～20cm を測る。ピットからの遺物の出土はなかった。

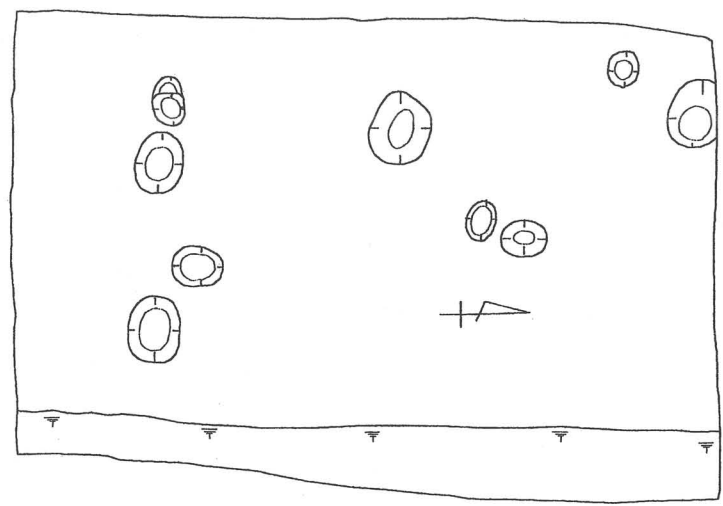
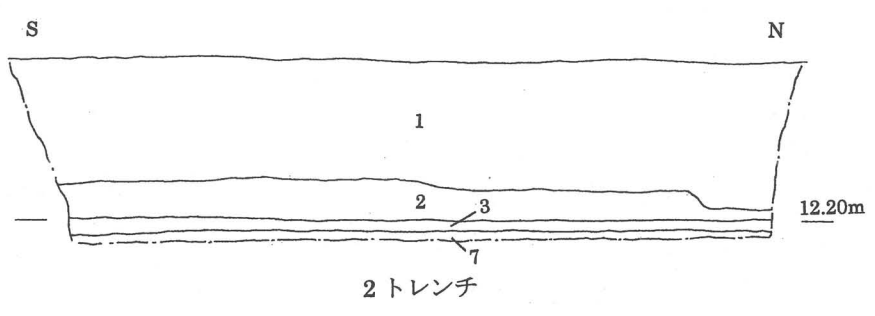
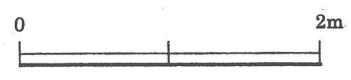
### 9. まとめ

調査の結果、1 トレンチで条理地割に添う東西方向の溝と、2 トレンチでピットを検出した。

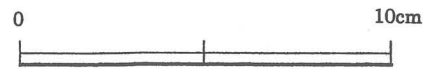
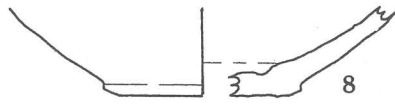
検出した溝は、今回の調査地の南で平成 9 年度に実施した、町道改良工事に伴う発掘調査で確認された東西溝に対応するもので、南北間の溝の間隔は約 110m を測ることが確認された。



- 1. 盛土
- 2. 旧耕土
- 3. 黄色土・床土
- 4. 明褐色粘質土 (溝埋土)
- 5. 明灰色粘質土 (溝埋土)
- 6. 灰色粘質土 (溝埋土)
- 7. 黄褐色土・地山
- 8. 黄褐色砂礫



第 64 図 遺構平面・土層断面図



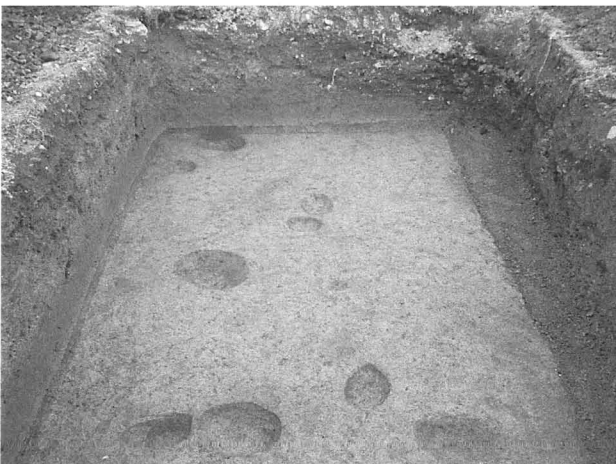
第 65 図 1 トレンチ溝出土遺物



第 66 図 1 トレンチ全景(南より)



第 67 図 1 トレンチ溝(東より)



第 68 図 2 トレンチ全景(南より)



表 2 遺物観察表

番号	遺 跡 名	出土地点	種 別 器 種	遺物番号	法 量(cm)			焼 成	色 調	胎 土	調 整
					口 径	器 高	底 径				
1	茶ノ木遺跡		須恵器 碗	0901-1-1		1.5	3.2	良好	外 5YR 灰 内 5YR 灰	微砂粒・砂粒 含む	外 ナデ・底部糸切 内 ナデ
2	川島遺跡	1 トレンチ	須恵器 坏	0902-1-1		2.1	10.8	良好	外 N7 灰白 内 N7 灰白	微砂粒少量含 む	外 回転ナデ・底部回転削り 内 回転ナデ・底部ナデ
3	"	"	須恵器 坏	0902-1-2		1.5	9.0	良好	外 N6 灰 内 N6 灰	微砂粒少量含 む	外 回転ナデ・底部削り後ナデ 内 回転ナデ・底部ナデ
4	"	4 トレンチ	須恵器 甕	0902-2-1		3.4		良好	外 N5 灰~N4 灰 内 N7 灰白	微砂粒含む	外 ナデ 内 ナデ
5	"	"	須恵器 捏鉢	0902-2-2	25.4	4.0		良好	外 N7.5 灰白・口縁端部 N2 黒 内 N7.5 灰白	微砂粒含む	外 回転ナデ・ナデ 内 ナデ
6	"	"	須恵器 坏	0902-2-3		1.5	10.8	良好	外 N7 灰白 内 N7 灰白	微砂粒わずか に含む	外 ナデ 内 ナデ
7	"	5 トレンチ	弥生 高坏	0902-3-1		6.9		良好	外 2.5YR7/6 橙 内 2.5YR7/6 橙	微砂粒含む	外 ナデ 内 削り後ナデ
8	佐田構居跡	1 トレンチ 溝	須恵器 碗	0903-1-1		2.3	5.2	良好	外 N7 灰白 内 N7 灰白	微砂粒含む	外 回転ナデ・底部糸切 内 ナデ

報告書抄録

ふりがな	へいせい21ねんど まいぞうぶんかざいちょうさねんぼう
書名	平成21年度 埋蔵文化財調査年報
副書名	一国庫補助事業対象分一
巻次	
シリーズ名	太子町文化財資料
シリーズ番号	第77集
編著者名	海野浩幸
編集機関	太子町教育委員会
所在地	〒671-1561 揖保郡太子町鵜 1369-1 TEL.079-277-1017
発行年月日	西暦 2011年3月31日

遺跡名	いかるがせき 鵜遺跡 (第26次調査)				
所在地	いぼぐんたいしちょういかるがじどうのあと 揖保郡太子町鵜字堂ノ後				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 07"	134° 37' 47"	2009・4・13	22.5 住宅建築
28464	450017			~4・17	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
鵜遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世			現代の粘土採掘による攪乱が著しい。

遺跡名	いかるがでらみないせき 斑鳩寺南遺跡				
所在地	いぼぐんたいしちょういかるがあさまえだ 揖保郡太子町鵜字前田				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 06"	134° 34' 29"	2009・4・20	40 宅地造成
28464	450013			~4・23	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
斑鳩寺南遺跡	集落跡	弥生・中世・近世			

遺跡名	しろやまいせき 城山遺跡				
所在地	いぼぐんたいしちょうきよおかあざうりゅう 揖保郡太子町佐用岡字瓜生				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 30"	134° 34' 44"	2009・4・24	4 個人住宅建築
28464	450005				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
城山遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳・中世		備前焼	

遺 跡 名		船塚遺跡				
所 在 地		揖保郡太子町鷺字榎ノ森				
コ ー ド		北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積( m <sup>2</sup> )	調 査 原 因
市町村	遺跡番号	34° 49' 52"	134° 34' 21"	2009・4・27	58	住宅建築
28464	450225			~5・1		
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項	
船塚遺跡	集落跡 古墳	古墳				

遺 跡 名		助久五反畑遺跡				
所 在 地		揖保郡太子町佐用岡字古門内				
コ ー ド		北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積( m <sup>2</sup> )	調 査 原 因
市町村	遺跡番号	34° 50' 23"	134° 34' 46"	2009・5・7	12	住宅建築
28464	450018			~5・12		
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項	
助久五反畑遺跡	集落跡	縄紋・弥生				

遺 跡 名		茶ノ木遺跡				
所 在 地		揖保郡太子町太田字茶ノ木				
コ ー ド		北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積( m <sup>2</sup> )	調 査 原 因
市町村	遺跡番号	34° 49' 35"	134° 36' 12"	2009・6・1	27	無線基地局建築
28464	450252			~6・5		
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項	
茶ノ木遺跡	集落跡	弥生・中世	柱穴	土師器・須恵器		

遺 跡 名		佐田構居跡				
所 在 地		揖保郡太子町東南字佐田				
コ ー ド		北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積( m <sup>2</sup> )	調 査 原 因
市町村	遺跡番号	34° 49' 52"	134° 35' 01"	2009・10・13	70.81	住宅建築
28464	450230			~10・16		
所収遺跡名	種 別	主 な 時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項	
佐田構居跡	集落跡	中世				

遺跡名		馬場遺跡				
所在地		揖保郡太子町 鵜字八幡分				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 26"	134° 34' 28"	2009・10・21	70	宅地造成
28464	450007			~10・30		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
馬場遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世				

遺跡名		鵜遺跡(第27次調査)				
所在地		揖保郡太子町 鵜字小栗田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 06"	134° 34' 51"	2009・11・4	40.84	宅地造成
282464	450017			~11・9		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
鵜遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世			現代の粘土採取及び建物基礎による攪乱が著しい。	

遺跡名		鵜北遺跡				
所在地		揖保郡太子町 佐用岡字五反畑				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 13"	134° 34' 45"	2009・12・2	24.11	住宅建築
28464	450246			~12・7		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
鵜北遺跡	集落跡	弥生・古墳		弥生土器		

遺跡名		川島遺跡				
所在地		揖保郡太子町 太田字五反田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 49' 45"	134° 36' 07"	2009・12・21	70.6	宅地造成
28464	450092			~2010・2・24		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
川島遺跡	集落跡	弥生・古墳・中世	旧河道	弥生土器・土師器・須恵器		

遺跡名		佐田構居跡				
所在地		揖保郡太子町東南字佐田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 49' 55"	134° 34' 57"	2010・2・22	39	宅地造成
28464	450230			~3・19		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
佐田構居跡	集落跡	中世	溝・柱穴	須恵器	条里地割に添う 東西方向の溝を 検出。	

平成21年度 埋蔵文化財調査年報

---

発行日 平成23年 3 月31日

発 行 太子町教育委員会

兵庫県揖保郡太子町鷗1369-1

電話 079-277-1017

印 刷 株式会社協和印刷



